



H A S H I K A M I 2016年(平成28年)

No.24

2月号(February)

はしかみ 議会だより

暮らし人
地域を豊かに



〜 「大蛇さざ波歩道橋」完成 〜

津波避難路を兼ねたJR八戸線を跨ぐ歩道橋が完成し、地域住民、大蛇小学校児童や関係者が出席し、12月22日に歩道橋の渡橋式が行われました。(写真は、歩道橋の完成を祝いテープカットをする関係者)



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 12月定例会

子どものための教育・
保育給付費に 9224万円

04 ここが聞きたい

4議員が一般質問

11 学校視察

町内8小中学校訪問

12 特集 区長に聞く

追越行政区

第8回 12月定例会

平成27年第8回定例会を12月8日開会し、12月11日閉会しました。
 今回の議会では、条例制定1件、条例の一部改正1件、補正予算5件、その他1件、計8件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で可決しました。他に陳情2件を採択、議会案1件を可決。一般質問は、4人の議員が行いました。

子どものための 教育・保育給付費に 9224万円

一般会計補正予算
7430万円を減額補正

▽27年度一般会計補正予算 (第3号)

町債4150万円を減額しました。

7430万円を減額補正し、予算総額は59億8722万円。
 歳入(収入)は、地方交付税1億7969万円、分担金及び負担金240万円、県支出金2502万円等を増額し、国庫支出金2443万円、繰入金2億1416万円、諸収入156万円、

歳出(支出)は、議会費185万円、民生費1億1945万円、農林水産業費203万円を増額し、総務費1241万円、衛生費2808万円、土木費1億3624万円、教育費893万円、予備費1108万円等を減額しました。

▽27年度国民健康保険特別 会計補正予算(第2号)

1473万円を減額補正し、予算総額は20億7890万円。
 歳入は、繰入金1473万円を減額しました。

歳出は、保険給付費834万円を増額し、予備費2308万円を減額しました。

▽27年度漁業集落排水事業 特別会計補正予算(第2号)

予算総額を変えずに、歳入の繰入金5万円を減額

し、諸収入に5万円を増額しました。

▽27年度介護保険特別会計 補正予算(第3号)

3904万円を減額補正し、予算総額は12億3997万円。
 歳入は、国庫支出金930万円、支基金交付金120万円、県支出金570万円、繰入金1284万円を減額しました。

歳出は、保険給付費400万円を減額し、基金積立金96万円を増額しました。

▽27年度公共下水道事業特 別会計補正予算(第2号)

46万円を増額補正し、予算総額は3億1015万円。
 歳入は、分担金及び負担金200万円、諸収入112万円、町債550万円を増額し、国庫支出金550万円、繰入金267万円を減額しました。

歳出は、施設管理費46万円を増額しました。



親子あそびの木のおもちゃ

平成27年度 各会計の補正予算額

区分	補正額	→	予算総額
一般会計(第3号)	△7,430万円	→	59億8,725万円
特別会計			
国民健康保険(第2号)	△1,473万円	→	20億7,890万円
漁業集落排水事業(第2号)	0万円	→	3,960万円
介護保険(第3号)	△3,904万円	→	12億3,997万円
公共下水道事業(第2号)	46万円	→	3億1,015万円

※金額は、すべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

条例の制定・改正・その他

■条例の制定

▽階上町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律による個人番号の利用及び特定個人情報提供に関し、必要事項を定めるための条例制定。

■条例の一部改正

▽階上町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部改正に伴い、地方税の猶予制度の見直しに係る規定の整備、その他所要の改正をするための一部改正。



更新される除雪グレーダ

■その他

▽物品の買入れについて

名称 除雪グレーダ
数量 1台
買入金額 3780万円
契約者 コマツ建機販売(株)東北カンパニー八戸支店

■陳情・意見書・選挙

▽地域材の利用促進に関する陳情書

陳情者 三八地区林業・木材産業振興協議会
(産業建設常任委員会に付託。採択。)

▽年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める要請書

陳情者 日本労働組合総連合会青森県連合会三八地域協議会
(教育民生常任委員会に付託。採択。)

▽年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

陳情者 日本労働組合総連合会青森県連合会三八地域協議会
(教育民生常任委員会に付託。採択。)

▽年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

提出先 国

▽選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙が、地方自治法の規定により、指名推薦で行われ、次の方々が当選されました。

れ、次の方々が当選されました。

【選挙管理委員】



平野 建悟氏



高階 繁雄氏



十文字 倉野氏



向井 文男氏

【選挙管理委員補充員】

山道 雄氏
根岸 春雄氏
濱谷 孫四郎氏
中田 牧子氏

第7回臨時会

平成27年第7回臨時会が11月10日に召集され、議案審議の結果、全会一致で可決されました。

▽階上町監査委員に選任する者につき同意を求めることについて

1人の委員の任期満了に伴い、三上孝八氏を監査委員に選任することに同意しました。



三上 孝八氏

一般質問

こころが聞きたい

12月定例会では4人の議員が登壇し、町側の考えをただしました。要旨を掲載しています。



長根 岩夫 議員

Q① 地方創生に係る施策である、雇用の創出、定住促進や子育て支援等の課題について、施策の趣旨説明を行い、町民へ広く周知すべきと考える。

また、町で企画、立案する施策の内容と事業規模は、

A① 町長 町の施策について、現在平成28年度予算の編成とあわせて作業中で、雇用の創出はハマの駅整備活用事業、定住自立は空き家バンク事業、子育て支援は基礎学力向上事業などを検討中。

国の予算規模は8月の概算要求で、28年度地方創生の新型交付金が1080億円、事業費ベース2160億円で、現時点において詳細は未定。

Q② 地方創生事業は、積極性が求められる事業であり、トツプセールズとあわせて、

地方創生に係る事業の取組について

町長／ハマの駅整備活用事業等、各種施策を検討中

優れた職員の採用と養成意欲あふれる職場環境づくりが必要と考える。職員の採用等について対応する考えは。

A② 町長 行財政改革により、職員数を平成21年度1000

人まで減員したが、国・県からの移譲事務や事務の複雑化により時間的、

精神的な負担が増大傾向にある。

各種研修等を積極的に受講させ、職員の育成を図っているが、これまでの事務遂行状況や職員の負担状況等を注視し、定員管理計画の中で今後5年で105名に増員して増加する事務への対応、町の将来を担う人財育成、活気ある職場づくりに努める。

公共事業評価について

町長／行革大綱で、事業改善と見直しを実施

Q① 町が実施する公共事業や営利に係る事業について、採算性を見極めながら定期的な事業の見直し、評価が必要と考える。

これまで町が行った事業評価の事業名と評価方法は。また、町の健全な財政運営を図るためにも外部の意見を聞く評価委員会等を設ける考えはないか。

A① 町長 町公共事業再評価実施要綱に基づき、平成20年度に公共下水道事業について、再評価検討委員会を設置し、投資効果、進捗状況等の審議を行い評価を実施。

事業評価方式の採用については、概ね5年ごとの行財政改革大綱において、事業の改善と見直し等を実施しているため、これらの内容を参考に必要に応じて、今後検討していく。

石鉢・赤保内の下水道整備について

町長／健全な事業運営と接続率向上に努める

Q① 下水道の接続率及び受益者負担金の徴収率は。負担金の徴収猶予をする土地とは。私道への本管布設の根拠と整備の手続きは。接続奨励金制度の利用実績と効果は。

A① 町長 下水道接続率は50%。受益者負担金徴収率は、平成21年度から6カ年分で約89%。徴収猶予は、条例で受益者が納付困難でかつ土地の状況により猶予が必要、災害、盗難等により納付困難な場合、申請により猶予できるとしている。私道への本管布設については、要綱を制定し対応。主な要件は4つあり代表者の申請を受け、これまで17カ所で行事を実施。奨励金制度については、下水道法に基づき、21年度の供用開始時に要綱を制定し早期接続の促進を図っている。27年度11月末現在の奨励

金の支出件数は18件、交付額は81万円。その他要綱により工事資金の融資あっせん、利子補給、接続期限の2年延長等を実施。

Q② 整備済施設の有効活用のためにも奨励金制度等のPRが必要である。下水道事業会計について、選択可能な企業会計方式があるが、今後バランスシート作成等の検討が必要では。

A② 建設課長 今後とも所有者、管理者に対し、制度等をPRし接続向上に努める。

A② 総合政策課長 公営企業会計について、平成27年度から5カ年のうちに適用するよう通知があるが、人口3万人未満の市町村は、できる限り移行とあるため、今後検討していく。



小松 雅彦 議員

ふるさと納税の現状と取り組みは

町長／記念品を11種類に増。更なるPRと内容の充実を図る

Q① ふるさと納税を利用して地域活性化している自治体が多数紹介され、政府も平成27年度から、1割から2割に引き上げ、更なる改正を視野にいれている。アイデア次第で多くの税収が集まることも可能。町の納税の現状とこれからの取り組みは。

A① 町長 町のふるさと納税は、平成27年度11月現在まで24件216万円。これまでに1種類のみだった記念品を、今年度から観光施設である道の駅はしかみ、フォレストピア階上、わっせ交流センターと連携し、更に町内水産販売店等の協力をいただき、記念品メニューを11種類に増やした。今後は、町内農業者等多くの関係者からも協力いただき、更なる記念品の多様化、内

容の充実と共に、町広報誌・ホームページ・町内外のイベント等で、町のPRとあわせてふるさと納税の増額に努める。

Q② 納税者に町にお越しいただき、自然や文化等体験してもらうことにより、町の活性化・産業の発展にも繋がるのでは。更にサービスの充実を図って

A② 町長 町には農業産物も含めたメニューがまだできる可能性は十分にある。商工業者関係機関を含め、各産業団体とも連携協議を増やしていきたい。

Q③ 納税する税金のうち8割をふるさと納税とし、6割を納税者のふるさとに、2割を応援したい地域に納税する。

町長 町では平成18年度から20年度にかけて、協働のまちづくりの一環として、

サービスの上限1%以内というのはどうか。また、老後を迎える人を、都会には施設が足りないという話を聞く。地方自治体の負担が大きくなるのではと危惧する。町としてこのようなことを発信すべきでは。

A③ 町長 提言については、各方面から情報を収集、共有しながら、今後の参考とする。

町民による「町おこし」の取り組みは

町長／ふるさとかたり塾、アニメーター養成講座等を開催し、人財育成を図る

近年各市町村において、自発的な町おこし・活性化グループが誕生し活躍している。町の現状と町としての促進、支援の取り組みは。

Q① 町長 町では平成18年度から20年度にかけて、協働のまちづくりの一環として、

A① 町長 町では平成18年度から20年度にかけて、協働のまちづくりの一環として、



ふるさと納税で選ぶ特産品の一部

はしかみ地域アニメーター養成講座、ふるさとかたり塾を開催。延べ60人の修了者を輩出し、地区まちづくり計画に携わるなど現在も多くの方が活動している。

町では協働のまちづくりの更なる推進を図り、自ら学習し地域のために活動できる人財の育成が必要と考えている。ふるさとかたり塾の開催等による人財育成について、今後も検討する。

Q② 養成講座を修了された方々が中心となり多方面で活躍している。そこで、若い人たちが自発的にこの町を元気づけようと、活性化させる強力な若いリーダーが必要なのは。創造的で魅力的な活動ができるよう人財の種をまき、育成の為にアニメーター養成講座、セミナー等の開催を提案する。

A② 町長 各層の年代の方々、特に若い世代の方がアニ



「ふるさとかたり塾」活動の様子

メーターとして活動されていることは、今の時代を先取りしていくためにも、非常に有効なことと考えている。要請のあった講座等も検討しながら、国が実施している地域おこし協力隊も、いろいろな団体において活用したいと考えており、受入れ体制についても模索していきたい。



畑中弘 議員

スポーツ施設整備と充実

町長／地域社会のニーズを把握し検討する

Q① 町の体育館は2施設だけとなり、近年ますます老朽化が進んでいる。屋外施設もテニスコート3面のみで、他の競技については、小中学校のグラウンドを借り、練習等をせざるを得ない状況。平成28年6月には、町主催の郡総合体育大会・階上大会が開催される。町の代表として選手は練習に励んでおり、関係者からは、体育館やグラウンドの整備・補修の要望がある。今後の整備計画は、また、町には公式試合のできる施設がほとんどない。郡総合体育大会も他町の施設を借りての開催となる。10年後には、第80回国民体育大会が青森県で開催される。この記念すべき大会に合わせ、誘致、サブ施設として、総合体育館の整備計画の予定があるのか。

A① 町長 現有している2施設について、改築後30年以上経過していることから、施設の補修の必要性は感じている。現在、維持管理に必要な補修を行いつつ活用している。屋外の施設についても必要な補修を行いながら、学校グラウンドやテニスコートなどの現有施設を有効活用していただいている。

A② 総合政策課長 現在、平成27年度公共施設等の総合管理計画の策定と、固定資産台帳の整備に着手している。

Q① 今年度から集会所が水郷館に集約され、避難施設に指定された施設がなくなったことから、地域住民から不安の声が寄せられている。

A① 町長 町では、災害に強いまちづくりに向けて、自助、共助、公助の理念のもとに、地域、事業所等と行政との3者の連携・協力により、防災体制の強化を図ることを方針としている。町内13福祉法人等の間における避難所の確保に関する協定締結をはじめとした、各分野

における60の協定書の締結により災害時の体制、整備に努めている。

地元福祉施設と町とによる災害時の支援協定についても関係各位と連携・協力のもと前向きに検討したい。

Q② 前向きな検討をよろしく願います。地区には河川もあり大雨等による土砂災害も危惧される。地元住民の不安を解消するうえでも、早期に対応し協定締結をお願いする。

A② 総務課長 避難所の充実について、金山沢地区は、洪水や土石流の関係で避難できる施設がないのと、町も危惧している所である。提案の件は積極的に進めていきたい。

A② 教育長 学校グラウンドの水たまりについて、毎年春先の砂などの散布や利用後の整備用砂を用意し対応している。来年春季の整備の際にも、状況を勘案しながら対応する。

総合体育館等の整備については、教育委員会としても財政の健全化に配慮しつつ、地域社会のニーズを把握しながら検討していく。

Q② 道仏、階上両中学校のグラウンド、特に野球グラウンドの内野付近に水たまりがあるのか。

道仏、階上両中学校のグラウンド、特に野球グラウンドの内野付近に水たまりがあるのか。



道中グラウンド



大下 修 議員

町財政の今後の見通しは

町長／町民へのサービス、要望等 バランスを図り財政運営に努める

Q① 全国的に地方自治体の財政状況は厳しいものとなっている。平成26年度決算後の町債残高は76億円、基金残高が21億円、經常収支比率（注1）93.2%。実質公債費比率（注2）13.1%となっている。これら4項目の27年度と3年後の見通しは。

（注2） 実質公債費比率
＝町全体の借金返済の程度を表す指標）

は、27年度が約12%、30年度は11.2%の見込みとなっている。

Q① 町長 一般会計の町債残高は、平成27年度は約75億9千万円、3年後の30年度は約66億5千万円の見込み。基金残高（財政調整基金）は、27年度は約13億2千万円、30年度は約7億1千万円の見込み。經常収支比率は、27年度、30年度ともに約94%の見込み。実質公債費比率

A① 町長 平成27年度歳出予算では町の公債費（借金返済）は8億数千円、歳入予算では、町債（借金）が6億数千円、基金（貯金）の取崩しが5億数千円となっている。ここ数年の基金の取崩し額は4～5億円である。3年後の財政調整基金残高は約7億円とのことである

Q② 総合政策課長 町債残高、基金、經常収支比率、実質公債費比率等については密接に関係している。今後、町民へのサービス、要望等と、財政のバランスを取りながら、財政運営に努めていきたい。

A② 町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。

（注1） 經常収支比率＝財政構造の弾力性を表す指標）

は、27年度が約12%、30年度は11.2%の見込みとなっている。

町長 一般会計の町債残高は、平成27年度は約75億9千万円、3年後の30年度は約66億5千万円の見込み。基金残高（財政調整基金）は、27年度は約13億2千万円、30年度は約7億1千万円の見込み。經常収支比率は、27年度、30年度ともに約94%の見込み。実質公債費比率

町長 平成27年度歳出予算では町の公債費（借金返済）は8億数千円、歳入予算では、町債（借金）が6億数千円、基金（貯金）の取崩しが5億数千円となっている。ここ数年の基金の取崩し額は4～5億円である。3年後の財政調整基金残高は約7億円とのことである

総合政策課長 町債残高、基金、經常収支比率、実質公債費比率等については密接に関係している。今後、町民へのサービス、要望等と、財政のバランスを取りながら、財政運営に努めていきたい。

駅前中央団地の販売促進について

町長／町の総合戦略と関連付けて、施策を展開する

Q① 駅前中央団地の販売後30年が経過。その後分譲価格を見直し再度販売するも残区画数12のうち1区画のみが売れ、残り11区画となり現在に至っている。

町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。

町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。

町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。



駅前中央団地

Q② 人口減少対策は、新郷村の例を見るまでもなく他町村との競争の様相ともみられる。その一歩が駅前中央団地の「早期完売」であり、大胆でインパクトある施策が必要。「階上町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」にも「駅前中央団地の早期販売」を入れて、効果的な施策から優先順位をつけ、ターゲットを絞り、スピーディにタイムリーな施策を実施すべきでは。

総合政策課長 現在、総合戦略の中で実施している新築工事費の1%、上限30万円の補助に、子育て世帯に対する優遇措置等も検討している。併せて、その他の施策を検討しながら販売促進をしていく。また、インパクトある施策についても検討していく。

総合政策課長 現在、総合戦略の中で実施している新築工事費の1%、上限30万円の補助に、子育て世帯に対する優遇措置等も検討している。併せて、その他の施策を検討しながら販売促進をしていく。また、インパクトある施策についても検討していく。

総合戦略への掲載については、素案を策定中であり検討する。

総合戦略への掲載については、素案を策定中であり検討する。

総合戦略への掲載については、素案を策定中であり検討する。

駅前中央団地の販売後30年が経過。その後分譲価格を見直し再度販売するも残区画数12のうち1区画のみが売れ、残り11区画となり現在に至っている。

町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。

町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。

町長 駅前中央団地は、昭和58年に旧道仏中学校跡地を造成し35区画で販売。平成19年度には、一部を町営住宅団地に転用し、現在11区画が残っている。

これまで町有財産活用検討委員会等の提言等もあり、いろいろ取り組んできたが、駅前中央団地の立地や価格、またその時の景気や人口減少等の要素が関係していると考えられ、原因の特定は困難である。

今後、販売を促進するため、移住者や子育て世帯に対する優遇制度等、町の総合戦略の施策と関連付けながら施策を展開していく。

質疑あれこれ

第8回定例会の議案の中から、
質疑を要約してお知らせしま
す。

一般会計補正予算

松尾國治議員

◆漁港維持工事について

問 大蛇漁港維持工事の転石撤去につ
いて、どのような方法で撤去するの
か。また、今後の工事日程は。

答 建設課長 陸上からクレーンで引
き上げといった形の撤去で、194万
4千円の予算を計上した。予算が可決
後、部会と相談しながら速やかに撤去
し航路を確保したい。



転石撤去工事の状況

議会活動

11月

- 1日 おいらせ町誕生10周年記念式典
- 6日 三戸郡町村議会議員研修会
- 7日 見心園秋まつり
- 8日 階上小学校創立140周年記念式典並びに祝賀会
- 10日 第7回臨時会本会議
- 10日 議員全員協議会
- 11日 第59回町村議会議長全国大会
- 11日 郡町村議会議長県外行政視察研修（～14日）
- 12日 はしかみいちご煮祭り第2回役員会
- 16日 教育民生常任委員会学校視察（～17日）
- 18日 議員全員協議会
- 24日 知事を囲む行政懇談会
- 24日 町行財政改革推進委員会
- 25日 全国森林環境税創設促進議員連盟青森県加入市町村議会議長会議
- 26日 議会報告会【1日目】
- 27日 町社会福祉大会

12月

- 27日 議会報告会【2日目】
- 1日 臥牛山まつり実行委員会・運営委員会合同会議
- 1日 はしかみいちご煮まつり実行委員会・運営委員会合同会議
- 3日 議会運営委員会
- 6日 町連合婦人会チャリティ演芸発表会
- 8日 第8回定例会本会議
- 8日 議員全員協議会
- 10日 第8回定例会本会議
- 10日 産業建設常任委員会
- 10日 教育民生常任委員会
- 10日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 11日 第8回定例会本会議
- 17日 見心園福祉懇談会
- 18日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 22日 大蛇さざ波歩道橋渡橋式
- 24日 道仏少年消防クラブ結成式
- 4日 町表彰条例表彰授与式

1月

- 4日 新年互礼会
- 5日 八戸建築組合階上支部定時総会
- 8日 議会だより編集委員会
- 10日 町消防団出初式
- 10日 町成人式
- 11日 洋野町誕生10周年記念式典
- 12日 町行財政改革推進委員会
- 14日 町商工会新年懇談会
- 15日 議会だより編集委員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 24日 元町消防団副団長石橋國夫氏瑞宝単光章受章祝賀会
- 27日 郡議長会視察研修（～29日）
- 29日 議会だより編集委員会

宗前元議長逝去

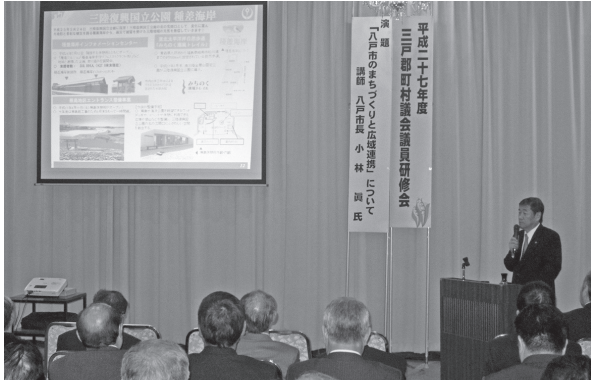
元町議会議長の宗前勝雄さん（85歳）が、12月10日に逝去されました。昭和50年4月から20年間議員として、また平成3年5月から4年間第11代議長として、町の発展にご尽力されました。

ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

三戸郡議会議員研修

11月6日、三戸町で開催された「三戸郡町村議会議員研修会」に、議員14人が参加。

- 講師 八戸市長 小林 眞 氏
- 演題 「八戸市のまちづくりと広域連携」について



議会だより編集委員会

- ◇ 今月号の編集委員(3人)
- ・ 大江 和夫 議員 (産業建設)
 - ・ 濱谷 貴樹 議員 (総務財政)
 - ・ 大下 修 議員 (教育民生)
- ◇ 編集委員会の開催
- ・ 第1回 1月8日
 - ・ 第2回 1月15日
 - ・ 第3回 1月22日
 - ・ 第4回 1月29日



第3回議会報告会

11月26・27日の2日間、4会場で議会報告会を開催しました。

当日は天気が悪かったにもかかわらず、ご参加いただいた町民の皆様、議会活動等に関することを報告することができました。報告後は、町民の皆様からたくさんの質問や提言等もあり、活発な意見交換が行われました。

報告会の詳細は次号でお伝えいたします。



議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	11月8日	階上小学校創立140周年記念式典並びに祝賀会	5,000円
2	会費	12月17日	見心園福祉懇談会	3,000円
3	会費	1月24日	元町消防団副団長石橋國夫氏瑞宝単光章受章祝賀会	5,000円

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	祝金	1月5日	八戸建築組合階上支部定時総会	3,000円
2	祝金	1月14日	町商工会新年懇談会	3,000円

11月16・17日の2日間にわたり、教育民生常任委員と教育委員による学校視察が行われました。

1日目は、道仏中学校 → 小舟渡小学校 → 道仏小学校 → 階上中学校、2日目は、階上小学校 → 石鉢小学校 → 赤保内小学校 → 大蛇小学校を訪問。

各学校内を一巡し、授業の様子や校内環境を視察。また、学校運営方針や学校施設の状況などの説明を受けました。

【2日目 11月17日(火)】

【児童数】 17人（前年より1人減）

4学級（うち複3、特1）教職員等8人

【教育目標】 夢に向かって 努力する子

【努力目標】 (1)進んで学習する子 (2)思いやりのある子

(3)じょうぶな体をつくる子

【めざす学校像】 誰にでも認められ、愛される階上小学校

(1)子どもを大切にする学校

(2)地域から信頼される学校

(3)毎日楽しく登校（通勤）できる学校

(4)校内外が整美・整備された学校



階上小学校

石鉢小学校



【児童数】 245人（前年より17人減）

12学級（うち特3）教職員等23人

【教育目標】 拓く子

【努力目標】 (1)みんなとなかよくしよう

(2)自分で考え学び合おう

(3)健康な体をつくろう

【めざす学校像】

『子どもと教師と保護者が、生き生きと活動する学校』

【児童数】 193人（前年より12人減）

8学級（うち特2）教職員等17人

【教育目標】 めあてにむかって挑戦する子

【努力目標】 (1)進んで学ぼう

(2)みんなとなかよく活動しよう

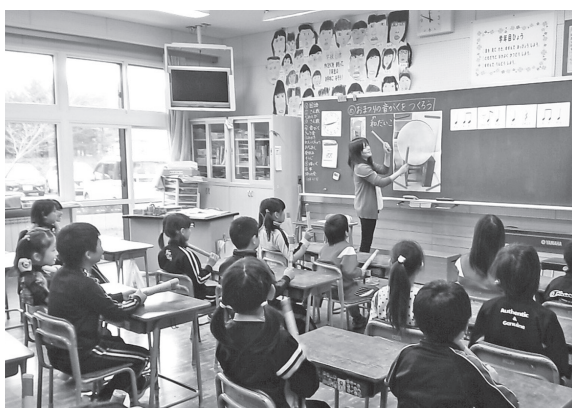
(3)健康な体をつくろう

【めざす学校像】 明るく楽しい学校

(1)子どもが楽しく登校する学校

(2)保護者が安心して通わせる学校

(3)教職員がやりがいのある学校



赤保内小学校

大蛇小学校



【児童数】 53人（前年より2人増）

5学級（うち複1）教職員等11人

【教育目標】 学習する なかよくする きたえる

【努力目標】 (1)自ら学び、表現する子

(2)なかよく助け合う子

(3)すすんで運動する子

【めざす学校像】

『みんなが生き生きと活躍できる、温かさあふれる学校』

町内学校視察

【1日目 11月16日(月)】

(児童・生徒数は、5月1日現在。複＝複式学級、特＝特別支援学級)

道 仏 中 学 校



【生徒数】 99人（前年より10人減）
5学級（うち特2）教職員等16人

【教育目標】 <夢をつかもう>

自ら学ぶ生徒 心豊かな生徒 粘り強い生徒

【努力目標】 (1)目標を持ち、進んで学習する生徒
(2)思いやりの心もち、自他の向上に努める生徒
(3)心身を鍛え、最後まであきらめない生徒

【めざす学校像】 (1)真剣に学習に取り組み、教室が活気に満ちあふれている学校 (2)生徒同士仲がよく、生徒会活動等が活発である学校 (3)元気なあいさつが飛び交い、歌声が響き渡る学校 (4)保護者、地域から信頼される学校

【児童数】 19人（前年より5人減）
4学級（うち複2、特1）教職員等8人

【教育目標】 思いやる子 学ぶ子 きたえる子

【努力目標】 (1)認め合い 助け合う子 [道徳性]

(2)よく考え 自ら学習する子 [学力]

(3)健康で たくましい子 [体力]

【めざす学校像】 (1)楽しく活気に満ちた学校（歌声、音読の声、歓声）(2)豊かなかかわり合いのある学校
(3)教育環境が整備されている学校 (4)保護者や地域から信頼される学校



小 舟 渡 小 学 校

道 仏 小 学 校



【児童数】 85人（前年より15人減）
7学級（うち特1）教職員等13人

【教育目標】 夢と希望をもち、努力しチャレンジする子

【努力目標】 (1)はきはきと発表する子

(2)友だちを大切に子

(3)健康に関心をもち進んで運動する子

【めざす学校像】 (1)一人一人が大切にされ、笑顔があふれる学校 (2)子どもたちが個性と力を発揮し、いきいきと活動する学校 (3)地域とともに歩み、保護者や地域に信頼される学校 (4)環境が整備され、気持ちよく安全に過ごすことができる学校

【生徒数】 297人（前年より12人増）
12学級（うち特2）教職員等27人

【教育目標】 学びを追求し自己を高める人間

集団生活の向上に努める人間

健康で安全な生活ができる人間

【努力目標】 (1)意欲的に学び、自分の能力を伸ばそう

(2)互いに協力し合い、規律ある生活をしよう

(3)健康・安全に努め、心身の充実を図ろう

【めざす学校像】 <誇りの持てる学校>

(1)安心して生活できる静かな学校 (2)皆が生き生きと活動している学校 (3)どの教室でも誰もが夢中になって学んでいる学校 (4)自然な挨拶が交わされ歌声が響く学校 (5)清潔でうるおいとやすらぎの感じられる学校



階 上 中 学 校

～追越行政区～



三地区敬老会の様子

朝日と潮騒に包まれた地域にあり、大蛇小学校学区の三地区（大蛇・荒谷・追越）のひとつです。三地区では共同して、新集会所やアスナ公園を管理し、敬老会、夏祭りや防災訓練を開催し、運動会に参加するなど多くのことを一体となつて行っています。この地域は、東日本大震災の津波により大きな被害を受けました。被災した海岸が三陸復興国立公園区域に、県道などがみちのく潮風トレイルルートに指定されました。また、昨年12月にはJR八戸線大蛇駅に三地区の永年の願いであった「鉄道跨線橋『大蛇さざ波歩道橋』が完成し、大蛇小学校と周辺及び海岸からの津波避難路が確保されました。これらの事を礎としてこの地域は少しずつ変わろうとしている

二人の世帯が多くなりました。大家族時代には家族で助け合い何事にも対処出来たことが、現在では災害時はもとより日常生活においても、近隣が助け合い支え合わなくては対処して行けない時代になっていきます。そこで後期計画では、前期と同様に諸施策を継続すると同時に、班の住民をひとつの大きな家族と見立て、新班長が家長となり家長を中心にして『お互い様・やれる人がやれることをやる・やれる時にやる』を基本に近隣で助け合う絆の強い班にしたいと、班組織と意識改革を進めているところです。

二人の世帯が多くなりました。大家族時代には家族で助け合い何事にも対処出来たことが、現在では災害時はもとより日常生活においても、近隣が助け合い支え合わなくては対処して行けない時代になっていきます。そこで後期計画では、前期と同様に諸施策を継続すると同時に、班の住民をひとつの大きな家族と見立て、新班長が家長となり家長を中心にして『お互い様・やれる人がやれることをやる・やれる時にやる』を基本に近隣で助け合う絆の強い班にしたいと、班組織と意識改革を進めているところです。

二人の世帯が多くなりました。大家族時代には家族で助け合い何事にも対処出来たことが、現在では災害時はもとより日常生活においても、近隣が助け合い支え合わなくては対処して行けない時代になっていきます。そこで後期計画では、前期と同様に諸施策を継続すると同時に、班の住民をひとつの大きな家族と見立て、新班長が家長となり家長を中心にして『お互い様・やれる人がやれることをやる・やれる時にやる』を基本に近隣で助け合う絆の強い班にしたいと、班組織と意識改革を進めているところです。

Q 追越行政区はどんなところですか。
A 追越行政区は、東部地区の太平洋に面した、

Q 後期計画のおもな取り組みは。
A 当行政区においても少子高齢化・核家族化の進行と人口減少が町内活動を阻害し活力を減退させています。人口は昭和30年頃のレベルまで落ち、なお減少し続けています。また世帯人数も7人強から現状（24年現在）では2・6人にまで減り、最近では一人あるいは高齢者

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。
A 議会には、しっかりと町の現状を見据え、大所高所から町民と町の将来のために進むべき方向を示し導いて欲しいと思います。

Q 前期計画では、どんなことを行いましたか。
A 『思いやりの心と笑顔あふれる地域づくり』を目指し、雨水排水路の新設やゴミステーションの増設、自主防災会の組織化と三地区合同防災訓練の実施、また住民親睦のための施策として日帰りバス旅行を始めました。

Q 前期計画では、どんなことを行いましたか。
A 『思いやりの心と笑顔あふれる地域づくり』を目指し、雨水排水路の新設やゴミステーションの増設、自主防災会の組織化と三地区合同防災訓練の実施、また住民親睦のための施策として日帰りバス旅行を始めました。



中島孝一 区長

Q 区長になったきっかけは。
 階上町では、19の全行政区で、まちづくり計画をつくり、協働のまちづくりを進めています。計画期間は、2029年度の10年間で、25年度から後期計画がはじまりました。今回は、追越行政区の中島孝一区長にお話を伺いました。

Q 前期計画では、どんなことを行いましたか。
A 『思いやりの心と笑顔あふれる地域づくり』を目指し、雨水排水路の新設やゴミステーションの増設、自主防災会の組織化と三地区合同防災訓練の実施、また住民親睦のための施策として日帰りバス旅行を始めました。

Q 前期計画では、どんなことを行いましたか。
A 『思いやりの心と笑顔あふれる地域づくり』を目指し、雨水排水路の新設やゴミステーションの増設、自主防災会の組織化と三地区合同防災訓練の実施、また住民親睦のための施策として日帰りバス旅行を始めました。

思いやりの心と
笑顔あふれる地域づくり

議会傍聴者数

- ・第7回臨時会 11月10日（3人）
- ・第8回定例会（平成27年12月）
 - 12月8日（3人）
 - 12月10日（19人）
 - 12月11日（2人）



議会の傍聴は、受付簿に、住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。